

改革先導拠点について

N-E.X.T.(ネクスト)ハイスクール構想に係る改革先導拠点

学校名(全日制)	人数(学級数) ※R7 一年生	学 科	備 考
若狭東高校	141人(6クラス)	生活創造科、地域創造科、工業創造科、ビジネス情報科	DX 令和7年度～令和8年度(予定)
福井農林高校	135人(4クラス)	生物生産科、環境工学科、生活科学科、食品流通科	
科学技術高校	180人(5クラス)	機械システム科、化学創造科、産業デザイン科、電子電気科、情報工学科	DX 令和6年度～令和8年度(予定)
敦賀工業高校	115人(4クラス)	電子機械科、電気科、情報ケミカル科、建築システム科	
福井商業高校	296人(8クラス)	商業科、国際経済科、会計科、情報処理科、流通経済科	
坂井高校	232人(8クラス)	食農科学科、機械・自動車科、電気・情報システム科、ビジネス・生活デザイン科	MH(指定) 令和3年度～令和5年度 〃(拠点) 令和6年度～令和7年度
奥越明成高校	75人(5クラス)	機械科、電気科、ビジネス情報科、生活福祉科	
武生商工高校	248人(7クラス)	機械創造科、電気情報科、都市・建築科、商業マネジメント科、情報ビジネス科	MH(拠点) 令和6年度～令和7年度 DX 令和6年度～令和8年度(予定)
藤島高校	313人(9クラス)	普通科	SSH 平成16年度～令和8年度(現在先導1期)
高志高校	241人(7クラス)	探究創造科(2・3年次 人文創造科、理数創造科)	SSH 平成15年度～令和10年度(現在先導1期) 併設型中高一貫校 平成26年度～
武生高校	298人(8クラス)	普通科、探究進学科(2・3年次 探究文科、探究理科)	SSH 平成20年度～令和10年度(現在4期)
武生東高校	91人(3クラス)	学際フロンティア学科(2・3年次 フューチャークエスト科、フューチャーサイエンス科、グローバル科)	DX 令和6年度～令和8年度(予定)
敦賀高校	215人(7クラス)	普通科、文理進学科(2・3年次 理数進学科、人文進学科)、商業科、情報経理科	DX 令和6年度～令和8年度(予定)
若狭高校	264人(8クラス)	普通科、文理探究科(2・3年次 国際探究科、理数探究科)、海洋科学科	MH(指定) 令和3年度～令和5年度 SSH 平成23年度～令和10年度(現在3期)
羽水高校	299人(8クラス)	普通科、探究特進科	
足羽高校	137人(5クラス)	普通科(キャリアデザインコース)、多文化共生科(中国語・英語コース、日本語コース)	
三国高校	125人(4クラス)	普通科	
金津高校	229人(7クラス)	普通科	DX 令和6年度～令和8年度(予定) 連携型中高一貫校 平成17年度～
丸岡高校	96人(3クラス)	普通科(みらい共創コース、スポーツ探究コース)	DX 令和6年度～令和8年度(予定)
大野高校	114人(4クラス)	普通科	DX 令和6年度～令和8年度(予定)
勝山高校	88人(4クラス)	普通科、探究特進科	DX 令和6年度～令和8年度(予定) 連携型中高一貫校 令和8年度～
鯖江高校	258人(7クラス)	普通科(スタンダードコース、スポーツ・健康福祉コース、IT・デザインコース)、探究科	DX 令和6年度～令和8年度(予定)
丹生高校	107人(4クラス)	普通科	連携型中高一貫校 平成17年度～
美方高校	149人(5クラス)	普通科、生活情報科、食物科	連携型中高一貫校 平成17年度～

= 改革先導拠点(案) =

① 専門高校の機能強化・高度化 坂井高校

【選定理由】

- ・プロ人材高校の中で、農工商4学科を有し、多様な学科連携が可能
- ・地域人材育成に向け、令和3年度からのマイスターハイスクールの取組みを進め、産学官連携のコンソーシアムの枠組みが構築されている

② 普通科改革を通じた高校の特色化・魅力化 敦賀高校

【選定理由】

- ・SSH校以外で理数科を有し、他地域の普通科系高校への波及効果が高い
- ・地域と連携した専用の理数研究、探究展開が可能(電子部品・エネルギーなど)

③ 地理的アクセス・多様な学びの確保 鯖江高校

【選定理由】

- ・県内で唯一、普通科にIT・デザインコースがあり、遠隔授業を検討している教科「情報」の教員体制が確保
- ・令和元年度から「地域との協働による教育改革推進事業」の取組みを県内で先行的に進め、地域連携の仕組みが構築されている。

SSH:スーパーサイエンスハイスクール、MH:マイスターハイスクール、DX:DXハイスクール(単年度申請)

※県全体の地域バランスも考慮し決定

改革先導拠点について(案)

類型1 専門高校の機能強化・ 高度化 (アドバンスト・エッセンシャル ワーカーの育成等)	拠点校:坂井高校	
	選定理由 ・農工商家の4学科を有し、多様な学科連携が可能 ・マイスターハイスクール事業指定校(R3～R5) ・産学官連携コンソーシアム構築済(約 50 社)	協力校 (全日)若狭東、福井農林、科学技術、敦賀工業、 福井商業、奥越明成、武生商工、 敦賀、美方、若狭 (定時・通信)丸岡、大野、鯖江、武生、敦賀、若狭、道守
類型2 普通科改革を通じた 高校の特色化・魅力化 (文理の双方の素養を有 する人材の育成等)	拠点校:敦賀高校	
	選定理由 ・SSH 校以外で理数系を有し、他の普通科系高校への波及効果が高い ・地域と連携した理数研究や 探究展開が可能	協力校 (全日)藤島、高志、武生、武生東、若狭、 羽水、足羽、三国、金津、丸岡、大野、勝山、 鯖江、丹生、美方、敦賀工業 (定時)敦賀
類型3 地理的アクセス・ 多様な学びの確保	拠点校:鯖江高校	
	選定理由 ・県内で唯一、IT・デザインコースを有している ・遠隔授業を検討している教科「情報」の教員体制が確保されている ・DX ハイスクール指定校(R7～) ・地域との協働による教育改革推進事業指定校(R 元～R3)	協力校 (全日)羽水、足羽、三国、金津、丸岡、大野、勝山、 丹生、美方 武生東、福井農林、奥越明成 (通信)道守

(※)協力校・・・改革先導拠点が改革を実現するために必要不可欠な他の学校等を「協力校」として設定可能

類型ごとに関連する高校を協力校に位置づけ、県内全ての高校において、改革先導拠点の取組みの波及に努める